

タイトル	著者名	内容紹介
あなたが誰かを殺した	東野 圭吾	閑静な別荘地で起きた連続殺人事件。愛する家族が奪われたのは偶然か必然か。残された人々は真相を知るため「検証会」に集う。そこに現れたのは、刑事・加賀恭一郎。私たちが待ち受けていたのは、想像もしない運命だった。
777 トリプルセブン	伊坂幸太郎	殺し屋・七尾彼が請け負ったのは、ホテルの一室にプレゼントを届けるという「簡単かつ安全な仕事」のはずだった。時を同じくして、そのホテルには驚異的な記憶力を備えた女性・紙野結花が身を潜めていた。
リカバリーカバヒコ	青山美智子	公園の古びた遊具、カバヒコに触れると、治したいところが回復するという都市伝説がある。誰もが抱く小さな痛みにやさしく寄り添う、青山ワールドの真骨頂。
でいすべる	今村 昌弘	“揭示係”に立候補したユースケ。揭示係の人気は低く、思う存分自分の趣味の怖い話を壁新聞に書ける!…はずだったが、なぜか学級委員長をやると思われたサツキも立候補する。
存在のすべてを	塩田 武士	誘拐事件から30年。警察担当だった新聞記者の門田は、旧知の刑事の死をきっかけに被害男児の「今」を知る。異様な展開を辿った事件の真実を求め再取材を重ねた結果、ある写実画家の存在が浮かび上がる。
おあとがよろしいようで	喜多川 泰	人は皆、出会ったものでできている。金も夢も友もない上京したての大学生・暖平。ひよんなことから落語研究会に入ることになり、“背負亭(しょいてい)こたつ”として高座に立つ羽目に!?
続窓ぎわのトットちゃん	黒柳 徹子	東京大空襲の数日後、青森を目指して、ひとり夜行列車に乗ったトットを待ち受けていた試練とは? みんなとなかよくなりたいトットが、考えついた方法とは? それから…? NHKの専属女優になりたての、トットが救われた一言とは?
窓ぎわのトットちゃん	黒柳 徹子	戦後最大のベストセラー。トットちゃんがユニークな教育のトモエ学園で、友達とのびのび成長していく自伝的物語。深い愛情で子どもたちの個性を伸ばしていった校長先生は「きみは、本当は、いい子なんだよ」と言い続けた。
世界でいちばん透きとおった物語	杉井 光	奇妙な成り行きから、僕は一度も会ったことがない父が死ぬ間際に書いていた小説『世界でいちばん透きとおった物語』の小説の原稿を探すことになる。知り合いの文芸編集者の力も借りて調べを入れていくうちに、父の複雑な人物像を知っていく。